

【添付資料2-①】

パフォーマンス・ショー演出内容

1.ウエルカムショー

エンターテインメント性豊かな**8台のトヨタ・パートナーロボット（楽器演奏ロボット7台、DJロボット1台）**が、**来場者を未来の世界へと誘うオープニングステージ**。MC（司会者）とロボットの掛け合い、来場者とのコラボレーションなど、華やかな歓迎ステージを展開。

- ・ MC（司会者）の楽しいウエルカムトークの後、トランペット演奏ロボットが、情感豊かにソロ演奏し、オープニング。（演奏予定楽曲：「見上げてごらん夜の星を」）
- ・ その他の楽器演奏ロボットがドラムマーチにのって登場し、7台のロボットがバンド演奏。（演奏予定楽曲：「聖者の行進」）
- ・ DJ役を務めるロボットがMC（司会者）と掛け合いをしながら、客席と一体となったラップパフォーマンスを展開。



ウエルカムショー演出イメージ

【添付資料2-②】

2.メインショー

- ▽一人乗りの**未来コンセプトビークル「i-unit」**、**搭乗歩行型ロボット「i-foot」**と、パフォーマーが一体となった演技により、「自由に移動すること、生きることの素晴らしさ」と「人とクルマの新しい関係」を紹介。
- ▽観客席を取り巻く360度の大型スクリーン(高さ約15m、全周約135m)や、舞台装置には、様々な自然や未来社会の様相が出現。観客は、あたかもショーの真っ只中にいるような感覚を体験できる仕掛けとしている。
- ▽また、「i-unit」による自動走行・隊列走行や、「i-foot」のパフォーマンスを通して、交通事故や渋滞のない社会、高齢者や障害者も自立して移動できる社会など「**社会との調和**」や、一人ひとりの好みにも応える**未来技術、未来ビークルの可能性**を紹介。
- ▽これら「i-unit」や「i-foot」のほか、様々な機能を持った未来モビリティも映像で紹介し、移動のニーズに応じて「**最適なモビリティを活用**」する未来社会の方向性を提案。



メインショー演出イメージ(2)

< 演 出 >



Yves Pépin (イヴ・ペパン)

<プロフィール>

1943年 フランス生まれ

壮大なスケールでのファンタジックなスペクタクル演出を得意とする空間演出家。数々の世界的な催事、博覧会、テーマパークでのマルチメディア&大型イベントを成功に導いた。パリにある製作プロダクション「eca2」を主宰。

<代表作品>

- ・「ワールドカップ1998(仏)」のオープニング&クロージングセレモニー演出
- ・「1999・2000ミレニアムセレブレーション」エッフェル塔でのスペクタクルショー演出 他